

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先） （電話照会先）	〒168－0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行 証券代行部 ☎0120－782－031
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載しておこなう。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

株式に関する お手続きおよび ご照会について	住所等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、その他のお手続きおよびご照会は、下記の各該当先をお願いいたします。 証券会社等の口座に記録された株式…口座のある証券会社等 特別口座に記録された株式……………三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
証券会社等 への口座振替 について	株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまのご所有株式は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された「特別口座」に記録されています。特別口座では、単元株の売買ができないなどお取引に一定の制限があります。円滑なお取引をおこなうためにも、特別口座から証券会社等に開設された株主さまの口座に株式を振替えること(＝口座振替)をおすすめします。 お手続きの詳細につきましては、上記三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。
未払配当金の 支払について	上記株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。



Obbli

第85期 | 報告書 |
平成27年4月1日～平成28年3月31日

「安心感」のあるエネルギー企業グループとして、社会に貢献してまいります。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、平成28年熊本地震により被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

当社は平成28年3月31日をもちまして、第85期を終了いたしましたので、当社グループにおける事業の概況をご報告かたがたご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続いたものの、中国経済の減速などから、景気は先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻くエネルギー業界におきましては、省エネルギー化の進展などにより石油製品の需要は減少傾向にあり、依然として厳しい経営環境が続いてまいりました。

こうしたなかで、当社グループにおきましては、積極的な営業活動と経費削減に努め、業容の拡大と業績の向上を図ってまいりました。

また、石油元売りの再編や電力の自由化による規制緩和など、経営環境は大きく変わりつつありますが、当社はグループ内経営資源の有効活用により利益の最大化を図り、築き上げた販売基盤をさらに強化するとともに、事業領域の拡大に努めてまいります。



代表取締役社長 金田 準

2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックにあわせて、羽田空港における発着枠の増加が見込まれておりますが、航空機給油施設の増設等インフラ整備を着実にここない、航空燃料の需要増大に対処してまいります。

今後も、危険物を取り扱う企業グループとして、航空機給油施設や石油製品出荷基地などの安全確保と運営に万全を期すとともに、イノベーションを進め、新たな価値を提供することにより、お客さまから選ばれ続ける「安心感」のあるエネルギー企業グループへの成長を目指し、社会に貢献してまいり所存でございます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

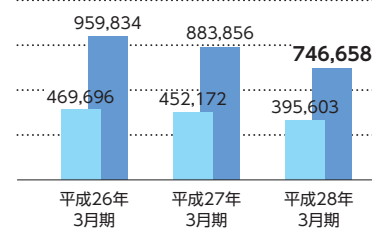
平成28年6月

連結業績の推移

第2四半期 通期

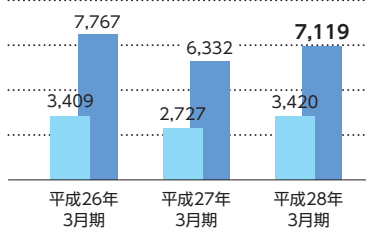
売上高 **746,658** 百万円

(単位：百万円)



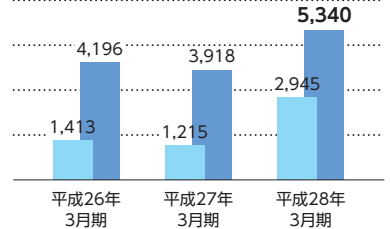
経常利益 **7,119** 百万円

(単位：百万円)



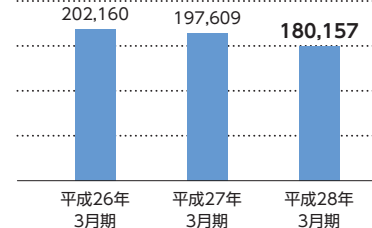
親会社株主に帰属する当期純利益 **5,340** 百万円

(単位：百万円)



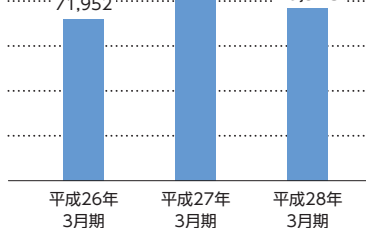
総資産 **180,157** 百万円

(単位：百万円)



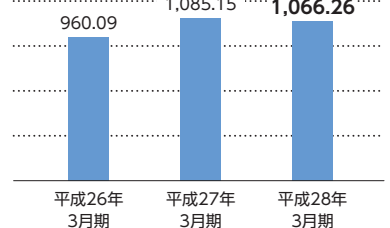
純資産 **76,943** 百万円

(単位：百万円)



1株当たり純資産 **1,066.26** 円

(単位：円)



当連結会計年度における当社グループの売上高は、原油価格の影響により販売価格が下落したことなどから、前期比15.5%減の7,466億58百万円となり、販売費及び一般管理費の低減などにより経常利益は前期比12.4%増の71億19百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことから、前期比36.3%増の53億40百万円となりました。

三愛石油グループの事業概要

三愛石油グループは、石油製品販売業、化学品製造販売業、L P ガス販売業、天然ガス販売業、航空燃料取扱業を柱とした総合的なエネルギーソリューションをご提供しています。全国に広がるネットワークで、「エネルギーサービスNo.1カンパニー」を目指してまいります。

石油関連事業



石油製品販売業

特約店への卸売や工場向け等の産業用燃料の販売、SS(サービスステーション)での小売販売を通して全国に石油製品を供給しています。

販売品目
ガソリン、灯油、軽油、重油、潤滑油等

系列SS数

全国 **1,178**ヶ所

グループ会社
キグナス石油(株)
国際油化(株)
三愛石油販売(株) 他

主要な油槽所の数

4ヶ所



化学品製造販売業

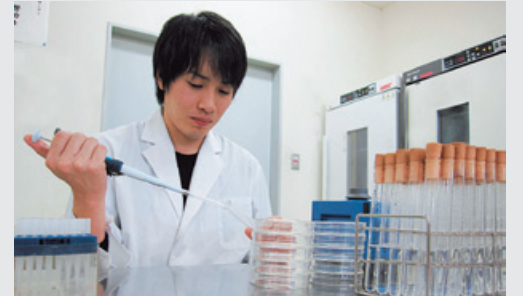
防腐・防かび剤や自動車用ケミカル商品等の研究開発から製造・販売まで、メーカー機能と商社機能を融合させてご要望にお応えしています。

販売品目

洗車機用ワックス等の自動車関連商品、防腐・防かび剤、化学薬品、溶剤等

グループ会社

東洋理研(株) 日本ケミカル商事(株)



ガス関連事業



LPガス販売業

家庭用、業務用等LPガスの販売、産業用一般高圧ガス、エアゾール用脱臭ガス、オートガスの販売をしています。

販売品目
LPガス、一般高圧ガス等

LPガスの充てん所
(エアゾール用1ヶ所含む)

14ヶ所

グループ会社

三愛オブリガス東日本(株) 三愛オブリガス中国(株)
三愛オブリガス九州(株) (株)ニシムラ 他



天然ガス販売業

佐賀天然ガスパイプライン等を利用した工場への供給、天然ガスを利用したエネルギー供給、佐賀県における一般消費者への都市ガスの供給などをおこなっています。

販売品目
天然ガス等

天然ガスの
導管網の総延長

約 **378**km[※]

グループ会社

佐賀ガス(株)

※三愛石油約35km、佐賀ガス約343km



航空関連事業他



航空燃料取扱業

羽田空港での航空機給油施設の運営および給油業務のほか、北海道から沖縄まで20ヶ所の空港で給油業務等をおこなっております。

航空燃料取扱業務を担う空港の数
(ヘリポート1ヶ所含む)

20ヶ所

グループ会社

三愛アビエーションサービス(株)
国際航空給油(株) 他



羽田空港における航空燃料搬出数量の推移



※平成22年10月より国際定期便が就航

■国内線 ■国際線

その他

金属表面処理業、建設工事業等をおこなっています。



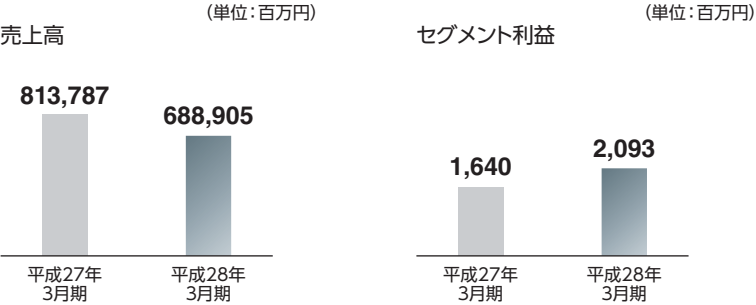
※掲載の数字は、平成28年3月31日現在のものです。

石油関連事業

売上高 **688,905**百万円 | セグメント利益 **2,093**百万円



石油製品販売業 | 化学品製造販売業



※セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

石油製品販売業

石油業界におきましては、当期は消費税増税の反動減がなく、ガソリンの需要は持ち直しが期待されたものの、低燃費車の普及などにより前年並みとなりました。

こうしたなかで、当社グループにおきましては、新規特約店の獲得など積極的な営業活動に努めるとともに、SSにおける販売力の強化と販売網の整備を図ってまいりました。

当社におきましては、平成27年のSS経営戦略を「共走共汗による人財力の創造」※とし、SSマネージャーや特約店後継者を対象としたリーダーの育成に積極的に取り組むなど、リテールサポートを継続してまいりました。また、「接客サービスコンテスト」やエリアごとに開催している「SS向上委員会」および「次世代自動車最新技術研修」を通して、SSスタッフの接客技術や販売力の向上を図ってまいりました。

産業用の燃料油販売につきましては、新規需要家の獲得と既存顧客への拡販に努めてまいりました。潤滑油販売につきましては、省エネや機械トラブルによる損失防止等に対応した高

※共走共汗 当社の営業担当者が、特約店と共に経営改善、収益向上の施策に取り組む姿勢を表すスローガン。

付加価値商品を提案することにより、ガスエンジン・風力発電機などの発電設備向け合成潤滑油や食品機械用合成潤滑油を拡販してまいりました。また、潤滑システムの改善提案により、潤滑油ろ過機等の販売も進めてまいりました。

化学品製造販売業

当社グループにおきましては、洗車機用薬剤などの自社製品、クリーニング溶剤などの工業薬品および粘接着剤（タックファイヤー）の拡販を図るとともに、高級洗車コーティングシステム「ARAWZANS（アラウザンス）」の販売を進めてまいりました。また、防腐・防かび剤や微生物簡易測定器具（サンアイバイオチェッカー）につきましては、東南アジアへの販売を開始いたしました。

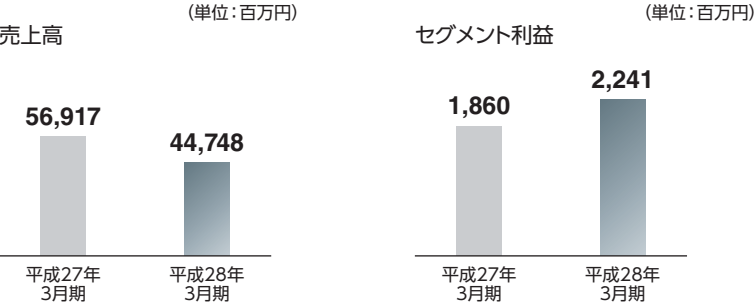
当社の研究所では、東洋理研株式会社と共同して、顧客ニーズに対応した環境負荷の少ない安全性に優れた製品の開発や改良に努めてまいりました。

ガス関連事業

売上高 **44,748**百万円 | セグメント利益 **2,241**百万円



LPガス販売業 | 天然ガス販売業



※セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

LPガス販売業

LPガス業界におきましては、世帯人員の減少や省エネ機器の普及により、家庭用の需要は前年を下回りました。

こうしたなかで、当社グループにおきましては、平成27年度の基本方針「軸足はお客さまとの接点にある」のもと、LPガスを中心としたエネルギーサービスを提供する「スマートエネルギーショップ」を推進するなど、生涯顧客化に向けた施策を展開してまいりました。また、販売数量の拡大に向けて、新規特約店の獲得に努めるとともに、LPガス小売営業権の買収などによる顧客軒数の増加を図ってまいりました。LPガス機器販売につきましては、「住まいるキャンペーン2015」を開催することで、高効率コンロや高効率給湯器などを拡販してまいりました。

また、情報冊子「オブリStyle」による情報の提供や「報連相シート」の活用などにより、お客さまとの接点強化に努めてまいりました。

保安面におきましては、「一日保安ドック」や危機対応訓練を継続して実施し、保安の確保に努めてまいりました。

天然ガス販売業

当社におきましては、導管およびタンクローリーによる供給の営業活動を全国に展開することで、天然ガスの販売拡大を図ってまいりました。また、省エネルギーを目的とした国が推進するエネルギー使用合理化事業に取り組み、コージェネレーションシステムなどの利用による総合的なエネルギー供給の提案営業に努めてまいりました。佐賀天然ガスパイプラインにつきましては、定期点検を確実に実施するなど安定供給のための保安に万全を期してまいりました。

佐賀ガス株式会社におきましては、需要拡大のため家庭用燃料電池（エネファーム）やガス空調システムなどの提案に努めてまいりました。また、お客さまに安心して都市ガスを利用いただくとため、供給管の維持管理を徹底してまいりました。

航空関連事業他

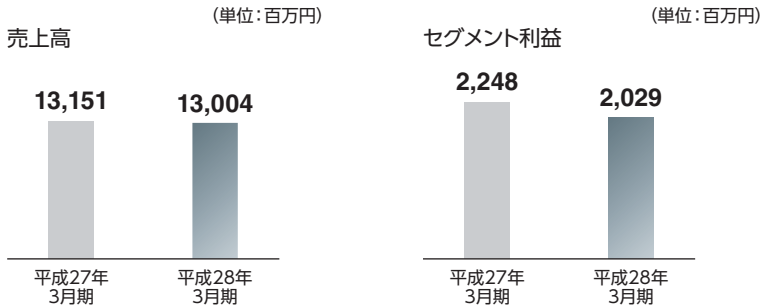
売上高 **13,004**百万円 | セグメント利益 **2,029**百万円



航空燃料取扱業



その他



※セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

航空燃料取扱業

当社グループにおきましては、航空機給油施設の運営に万全を期すとともに、航空燃料の給油業務における安全確保に努めてまいりました。

羽田空港におきましては、国際線の就航や増便により燃料搭載数量が前年を上回りました。

こうしたなかで当社は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い想定される航空燃料の需要増と施設の安全確保のために、給油施設等の増強工事を進めてまいりました。

また、三愛アビエーションサービス株式会社におきましては、関西国際空港での給油業務を開始いたしました。

その他

三愛プラント工業株式会社におきましては、半導体関連向け需要の持ち直しにより、ステンレスパイプの高品質電解研磨の受注が増加したことから、金属表面処理業の売上高は前年を上回りました。また、当期も「VACUUM 2015 真空展」に出展し、金属表面処理の技術力のアピールに努めてまいりました。建設工事業の売上高は、受注物件の工事完工が順調に進んだことにより、前年を上回りました。

企業インフォメーション

(平成28年3月31日現在)

■経営理念



上記の経営理念

「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」

は、創業者 故 市村清の掲げた創業(三愛)精神です。

■事業部、主な事業所およびグループ会社

本社、事業部、支社

本 社
石 油 事 業 部
エネルギーソリューション事業部
化 学 品 事 業 部
ガ ス 事 業 部
羽 田 支 社

主な事業所

石 油 SOHO 支 店 東北第一、東北第二、関東第一、関東第二、東京第一、東京第二、東京第三、中部、近畿、中国、四国、九州
潤 滑 油 販 売 支 店 東日本、西日本
化 学 品 販 売 支 店 東日本、中部、西日本、オートケミカル、研究所
お よ び 研 究 所
天 然 ガ ス 販 売 支 店 関東、関西、九州

主なグループ会社

キグナス石油(株) 国際油化(株) 東日本三愛石油(株) 三愛石油販売(株) 北陸三愛石油(株) 東洋理研(株) 三愛オブリガス東日本(株)
三愛オブリガス中国(株) 三愛オブリガス九州(株) (株)ニシムラ 佐賀ガス(株) 三愛プラント工業(株)

■会社の概要

本 店 所 在 地 東京都品川区東大井五丁目22番5号
創 業 年 月 日 昭和27年6月9日
主要な事業内容 ・一般石油製品およびLPガス等の販売
・ガス事業法に基づくガス導管事業および大口ガス事業によるガスの供給
・航空燃料の保管および航空機への給油
・防腐・防かび剤、消火剤、その他の化学薬品の販売
・一般石油製品の保管およびこれに伴う業務
従 業 員 数 488名
資 本 金 10,127百万円

■役員

代表取締役社長 金田 準
専 務 取 締 役 塚原由紀夫 馬郡義博
常 務 取 締 役 岩田寛剛 山下奉信
取 締 役 曾我譲治 早川智之 松尾耕次
社 外 取 締 役 梅津光弘 高橋朋敬
常 勤 監 査 役 中川栄一 水谷知彦
社 外 監 査 役 福家辰夫 長崎武彦 中川 洋

連結貸借対照表(要旨)

単位：百万円		
	前 期	当 期
	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	107,900	89,842
固定資産	89,709	90,315
有形固定資産	51,647	50,949
無形固定資産	4,857	4,243
投資その他の資産	33,204	35,121
資産合計	197,609	180,157
【負債の部】		
流動負債	83,453	74,697
固定負債	33,117	28,515
負債合計	116,570	103,213
【純資産の部】		
株主資本	70,517	72,078
資本金	10,127	10,127
資本剰余金	6,953	4,487
利益剰余金	53,725	57,623
自己株式	△288	△158
その他の包括利益累計額	9,148	3,420
その他有価証券評価差額金	8,720	4,511
土地再評価差額金	△863	△819
退職給付に係る調整累計額	1,291	△271
非支配株主持分	1,373	1,444
純資産合計	81,039	76,943
負債純資産合計	197,609	180,157

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

単位：百万円		
	前 期	当 期
	平成26年4月 1 日～平成27年3月31日	平成27年4月 1 日～平成28年3月31日
売上高	883,856	746,658
売上原価	838,240	700,789
売上総利益	45,616	45,869
販売費及び一般管理費	40,001	39,629
営業利益	5,614	6,240
営業外収益	1,579	1,572
営業外費用	861	693
経常利益	6,332	7,119
特別利益	471	1,658
特別損失	518	423
税金等調整前当期純利益	6,284	8,354
法人税、住民税及び事業税	2,118	2,844
法人税等調整額	201	83
当期純利益	3,964	5,426
非支配株主に帰属する当期純利益	45	86
親会社株主に帰属する当期純利益	3,918	5,340

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書(要旨)

単位：百万円											
当期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	10,127	6,953	53,725	△288	70,517	8,720	△863	1,291	9,148	1,373	81,039
当期変動額											
剰余金の配当			△844		△844				－		△844
剰余金の配当（中間配当）			△601		△601				－		△601
土地再評価差額金の取崩			2		2		△2		△2		－
親会社株主に帰属する当期純利益			5,340		5,340				－		5,340
自己株式の取得				△2,335	△2,335				－		△2,335
自己株式の消却		△2,465		2,465	－				－		－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					－	△4,208	46	△1,563	△5,725	71	△5,654
当期変動額合計	－	△2,465	3,897	129	1,561	△4,208	43	△1,563	△5,728	71	△4,095
当期末残高	10,127	4,487	57,623	△158	72,078	4,511	△819	△271	3,420	1,444	76,943

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位：百万円		
	前 期	当 期
	平成26年4月 1 日～平成27年3月31日	平成27年4月 1 日～平成28年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,281	2,825
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,050	△1,253
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,754	△8,360
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,523	△6,788
現金及び現金同等物の期首残高	42,237	38,714
現金及び現金同等物の期末残高	38,714	31,925

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結セグメント情報

単位：百万円						
前期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	石油関連事業	ガス関連事業	航空関連事業他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	813,787	56,917	13,151	883,856	－	883,856
セグメント間の内部売上高または振替高	1,778	32	870	2,681	△2,681	－
計	815,566	56,949	14,022	886,538	△2,681	883,856
セグメント利益	1,640	1,860	2,248	5,749	582	6,332

単位：百万円						
当期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	石油関連事業	ガス関連事業	航空関連事業他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	688,905	44,748	13,004	746,658	－	746,658
セグメント間の内部売上高または振替高	1,279	20	936	2,236	△2,236	－
計	690,185	44,769	13,940	748,894	△2,236	746,658
セグメント利益	2,093	2,241	2,029	6,364	754	7,119

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

貸借対照表(要旨)

単位：百万円		
	前 期	当 期
	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	54,664	43,439
固定資産	77,142	69,979
有形固定資産	26,810	26,494
無形固定資産	386	242
投資その他の資産	49,945	43,242
資産合計	131,806	113,418
【負債の部】		
流動負債	43,308	33,590
固定負債	22,083	16,154
負債合計	65,392	49,744
【純資産の部】		
株主資本	58,356	59,594
資本金	10,127	10,127
資本剰余金	6,872	4,407
利益剰余金	41,645	45,218
自己株式	△288	△158
評価・換算差額等	8,057	4,079
その他有価証券評価差額金	8,744	4,656
土地再評価差額金	△686	△576
純資産合計	66,414	63,674
負債純資産合計	131,806	113,418

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書(要旨)

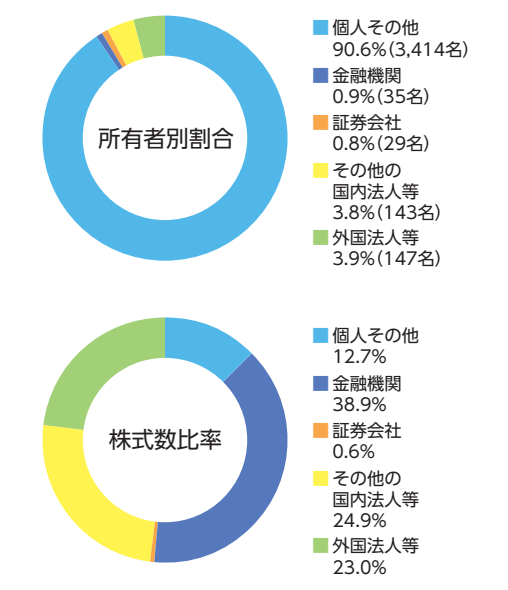
単位：百万円		
	前 期	当 期
	平成26年4月 1 日～平成27年3月31日	平成27年4月 1 日～平成28年3月31日
売上高	259,236	205,687
売上原価	243,535	190,130
売上総利益	15,700	15,557
販売費及び一般管理費	11,482	11,036
営業利益	4,218	4,521
営業外収益	2,145	1,936
営業外費用	425	348
経常利益	5,938	6,109
特別利益	384	1,518
特別損失	159	389
税引前当期純利益	6,163	7,237
法人税、住民税及び事業税	1,597	2,093
法人税等調整額	52	67
当期純利益	4,513	5,077

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

発行可能株式総数 277,870,000株
発行済株式の総数 71,000,000株

(注)発行済株式の総数は、自己株式を消却したことから、前期末より3,000,000株減少しております。

株 主 数 3,768名
単 元 株 式 数 1,000株



1株当たり配当金の推移

	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期
中間配当	6.50	6.50	6.50	7.00	8.50
期末配当	8.50	7.00	7.50	11.50	10.50
年間	15.00	13.50	14.00	18.50	19.00

(注)平成24年3月期の期末配当には、特別配当1.00円および創立60周年記念配当1.00円が含まれております。

大株主(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人新技術開発財団	8,282	11.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社リコー退職給付信託口)	5,800	8.19
株式会社リコー	3,362	4.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	2,701	3.81
株式会社みずほ銀行	2,233	3.15
株式会社三井住友銀行	2,203	3.11
三井住友信託銀行株式会社	2,173	3.07
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,876	2.65
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,801	2.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,616	2.28

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 平成27年11月9日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、エフエムアール エルエルシー(FMR LLC)が平成27年10月30日現在で以下の株式を保有している旨が記載されているものの、当社として期末時点における実質保有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。
なお、その大量保有報告書(変更報告書)の内容は次のとおりであります。
大 量 保 有 者 エフエムアール エルエルシー(FMR LLC)
住 所 米国 02210 マサチューセッツ州ボストン、サマー・ストリート245
保有株券等の数 6,748,000株
株券等保有割合 9.12%

三愛石油株式会社

接客サービスコンテストの開催

当社は、SSスタッフの接客技術や販売力の向上を目的として、接客サービスコンテストを継続して開催しております。

今回は「感動接客」をテーマに掲げ、平成27年7月の決勝大会では、各エリア大会の上位者が全国から集まり、給油に来店されたお客さまへの応対と洗車のセールストークを競い合いました。



キグナス石油株式会社

自動車用エンジンオイル「Ba:nシリーズ」
台湾へ輸出開始

キグナス石油株式会社は、自動車用エンジンオイル「Ba:n(バーン)シリーズ」のうち国内で販売実績のある3商品と、高温多湿な気候などに合わせて改良した2商品を平成27年10月より台湾へ輸出しております。

今後も「安全・安心」の高品質な製品を提供することで、輸出先におけるキグナスブランドの確立に努めてまいります。



国際油化株式会社

セブン-イレブンとの複合店として
セルフSSをリニューアルオープン

国際油化株式会社は、平成27年11月にオブリステーション狭山中央給油所(埼玉県狭山市)をセブン-イレブンとの複合店としてリニューアルオープンいたしました。

複合店のメリットを活かすことにより、集客力の高い店舗を目指してまいります。



佐賀ガス株式会社

第10回 ガス展の開催

佐賀ガス株式会社は、日ごろご愛顧いただいているお客さまに感謝の気持ちをこめてガス展を毎年開催しております。

第10回のガス展では、お客さまが比較・検討しやすいように用途・メーカーごとに陳列した最新のガス機器の展示会だけでなく、お子様も参加できるイベントもおこなうなど、多くのお客さまに楽しんでいただき大盛況となりました。



※今回は、三愛オブリガス九州(株)西九州支店と合同で開催